

3 指導案「工夫して絵本づくりを進めよう」(本時 20/35)

[目標]

- ・ 幼児の心身の発達に応じて設定した個々の目的に合った方法で、絵本づくりの作業を進めることができる。 (技能)
- ・ ストーリーやデザイン、配色などを工夫して絵本づくりの作業を進めることができる。 (工夫・創造)

[指導過程]

	学習活動 (子供の思い・考え)	教師の支援及び留意点 評価
導入	1 本時の学習課題をつかむ。 「工夫して絵本づくりを進めよう」	よい工夫例を紹介することにより、意欲付けをする。
展開	2 作品例から工夫の方法を学ぶ。 文字の飾り付け ワードアートの利用 ページのレイアウトの工夫 背景をコピー＆ペーストする方法 3 絵本製作をする。 (1) ペイントソフトで絵本をつくる。 構想プリントを見て下描きをする。 下描きにそって着色する。 全体の感じを確認する。 (2) データを保存する。	キャンバスのサイズが縦 140mm×横 200mmであることを確認させる。 外形線は、隙間を空けないように注意させる。 手描きの輪郭をスキャンして、ペイントで着色する方法があることを紹介する。 個々の目的にあった方法で絵本づくりの作業を進めることができたか。(作品)
まとめ	4 本時のまとめをする。 (1) 基本構想の修正点を基本構想プリントに書き込む。 (2) 次時の学習内容を知る。	ペイントソフトのどの機能を使い、どのような工夫をしたかを具体的に書かせることにより、絵本の発表会のときに伝えられるようにする。

[評価]

- ・ 作品例から工夫すべき点を取り入れ、ペイントソフトを使って絵本づくりの作業を進めることができたか。(作品)
- ・ 作品例を参考に、文字の飾り付けやワードアートの利用、ページのレイアウトの工夫、背景をコピー＆ペーストする方法などを取り入れ、ストーリーやデザイン、配色に工夫を加えて、絵本づくりの作業を進めることができたか。(観察)